投資を通じ企業と未来を創造

投資を通じた社会貢献を目指すレオス・キャピタルワークスは、個人が投資しやすい投資信託「ひふみ」を運用し支持されている投資信託会社です。「資本市場を通じて社会に貢献します」という経営理念のもと、豊かな社会の実現を目指しています。企業のあるべき姿や投資による社会貢献、投資理念について、レオス・キャピタルワークス代表取締役会長兼社長（CEO&CIO）の藤野英人氏と本県を代表する企業で世界的な医療機器メーカー「マニー」（本社・宇都宮市）取締役兼代表執行役社長の齊藤雅彦氏が対談しました。（企画・制作　下野新聞社営業局）

レオス・キャピタルワークス×マニー　対談

2003年創業。日本最大級の日本株アクティブ型投資信託を扱う。「レオス」とは古代ギリシャ語で「流れ」という意味を持つ。哲学者ヘラクレイトスが残した「万物は流転する（パンタレイ）」という思想のように、世の中は常に変化しその変化の中にこそ無限のチャンスがあるという考え方を基本に、時代の変化に合わせて資本主義市場を通じた社会貢献および顧客とともに良い社会の創造を目指す。

少額から始めることができる「つみたて投資」の重要性を訴え、「ひふみ」シリーズなどの商品を展開。また、YouTubeチャンネル「お金のまなびば！」「ひふみ目論見供養部」を通じた金融経済教育の普及、投資の魅力や投資の楽しさを伝える投資文化の定着を図るなど、全ての国民に開かれた金融を唱える。

レオス・キャピタルワークス
代表取締役会長兼社長（CEO&CIO）
藤野　英人氏

経営者と対話　光る企業探す

―レオス・キャピタルワークスはどのような会社ですか。

藤野　幅広い不特定のお客さまから小口でお金をお預かりして、巨額になったお金をさまざまな企業に投資してお客さまの資産を増やす、投資信託という金融商品を運用する資産運用会社です。2003年に創業し昨年20周年を迎えました。運用するアクティブファンド「ひふみ」は日本で最大級の投資信託の一つです。120万人以上のお客さまがおり、国民の100人に1人はご存じのお客さまということになります。

世界株も取り扱い、それも大きくなりました。世界株投資信託の中でも、日本で有数の規模と言っても過言ではありません。運用者が投資先の企業を一つ一つ丁寧に調査し、選定しますが、選定時に大切にしているのは、経営者と会ったり直接事業内容を見せてもらったりする「足で稼ぐ運用」「成長企業の発掘」です。

―マニーは栃木県高根沢町で誕生し、現在は宇都宮市に本社を置く世界的な医療機器メーカーですが、どのような会社ですか。

齊藤　今日は、マニーがどのような会社なのかキットをお見せしながら説明します。創業は1956年で、縫合針から始まりました。その前は東京で軍事事業に携わっていましたが、戦争が終わり「これからどうしていこうか」ということになりました。紆余曲折を経て金属加工技術が生かせる縫合針にたどり着きました。縫合針が折れることによって起きる医療事故を知り、「材料から開発して折れにくい医療用針を作りたい」という思いを製品にしました。企業理念は「患者立つ製品の開発・生産・提供を通じて世界の人々の幸福に貢献する」です。

世界中にニーズ

―製品をご紹介ください。

齊藤　硬い材料および穴を開ける技術を開発し、縫合針から始まりました。次にこの材料と技術を使い歯科材料に進出しました。歯科根管治療（歯の内部に入った細菌を除去し、痛みや腫れといった症状を取り除く治療）用にどのような形の根管にでも入っている器具を開発しました。そして、微細な器具や技術を必要とする医療領域にも進出しました。

藤野　白内障の患者は世界中で増えていますから、ニーズがありますね。

齊藤　そうですね。眼科ナイフの技術を使って、網膜治療用の器具なども作っています。以前、医療用ホチキスが出てきた時、「縫合がなくなってしまう、われわれの縫合針も必要でなくなるのでは」という機微を持ったことがありました。しかし、縫合の技術が方がきれいに仕上がるという使い方をすることになりました。縫合針、歯科の3分野は、光っており、とても価値のある企業です。

まだまだやれることがありますし、世界には打って出てけるお客さまがたくさんあると考えています。世界に向けて製品のシェアを伸ばしていきたいですね。

藤野　レオス・キャピタルワークスには、長期にわたって価値を上げる企業に投資をするという方針があります。マニーには、ファンド創立直後の比較的早い時期から投資をしています。それは、私のお金ではなくお客さまの人生と夢、希望が込められたお金だ、栃木県の素晴らしい企業の中に入っていることになります。実際に使った医師が、こだわりが詰まっていて、「良い製品ですね」と言ってくださると、非常にうれしいやりがいを感じます。

企業に変化の兆し

―藤野さんは、全国を回って経営者に会っていますね。

藤野　企業はさまざまなステークホルダー（利害関係者）によって成り立っています。最も大事なのは地域の人たちの方向性、企業のリーダー、経営陣です。その人たちの方向性、企業のミッションとミッションをとっても大切にして投資先を選んでいます。結局的に、企業に共感する、内容をよく理解できる企業は、長期的なリターンを上げることが多いですね。

齊藤　得意な材料や加工技術を使えば、もっと良い医療機器が提供できる、もっと良い治療ができるということを追求してきました。世界中の人がマニーの製品を使いたい品質ようになれば、利益につながります。

藤野　企業が持続的に成長するためには、社会のために良い商品を作っているか、環境に負荷はないのか、フェアトレードか、説明責任を果たしているのかなど非常に複雑なことを考えなければいけません。そうすると、経営者たちがちょっと良い治療を提供するんだ」という開発技術者の思いが詰まっています。この思いをくみ取り「良い製品ですね」と言ってくださると、非常にうれしいやりがいを感じます。

ある企業です。われわれのお客さまは毎月、少額投資を通じて経営に参画し、この正の循環を支えています。

齊藤　株主の皆さまの期待を背負っていることがよく分かりました。私たちがこの製品は「それよりももっと良い治療を提供する作っているメーカーは他に時間がかかる」という、ご期待に応えて開発しています。

藤野　白内障の患者さまは世界中で増えていますから、立つ製品の開発・生産・提供を通じて世界の人々の幸福に貢献する」です。

世界中にニーズ

―製品をご紹介ください。

齊藤　硬い材料および穴を開ける技術を開発し、縫合針から始まりました。次にこの材料と技術を使い歯科材料に進出しました。歯科根管治療（歯の内部に入った細菌を除去し、痛みや腫れといった症状を取り除く治療）用にどのような形の根管にでも入っている器具を開発しました。そして、微細な器具や技術を必要とする医療領域にも進出しました。

藤野　白内障の患者さまは世界中で増えていますから、ニーズがありますね。

齊藤　そうですね。眼科ナイフの技術を使って、網膜治療用の器具なども作っています。以前、医療用ホチキスが出てきた時、「縫合がなくなってしまう、われわれの縫合針も必要でなくなるのでは」という機微を持ったことがありました。しかし、縫合の技術が方がきれいに仕上がるという使い方をすることになりました。縫合針、歯科の3分野は、光っており、とても価値のある企業です。

長期的な価値重視

―投資先を選ぶ基準を教えてください。

藤野　今話題の分野とそこに企業にも投資しますが、地味で地道でもキラリと光る企業に長期的な価値を見いだし投資しています。マニーに言えば「マニーがなくなっては困る」という人がたくさんいることが価値です。マニーの製品は医師理解できるよう、内容をよく理解できる企業は、長期的なリターンを上げることが多いですね。

齊藤　得意な材料や加工技術を使えば、もっと良い医療機器が提供できる、もっと良い治療ができるということを追求してきました。世界中の人がマニーの製品を使いたい品質ようになれば、利益につながります。

藤野　企業が持続的に成長するためには、社会のために良い商品を作っているか、環境に負荷はないのか、フェアトレードか、説明責任を果たしているのかなど非常に複雑なことを考えなければいけません。そうすると、経営者たちがちょっと良い治療ができるんだ」という開発技術者の思いが詰まっています。この思いをくみ取り「良い製品ですね」と言ってくださると、非常にうれしいやりがいを感じます。

レオス・キャピタルワークス本社オフィス＝東京都内

レオス・キャピタルワークス×マニー　対談

マニー取締役兼代表執行役社長
齊藤　雅彦氏

投資は〝推し活〟価値生む応援

―政府は「資産運用立国」を唱え、今年から新NISA（少額投資非課税制度）が始まりました。

藤野　新NISAは、これまでの制度と比べて、年間投資枠が大幅に拡大し、非課税保有期間が無期限化するなど、格段に使いやすくなりました。資産運用の大きな試金石です。でも、使い方を教えないままよく切れる刃物を渡されたっていうか、という感じもします。「新NISAってどうやって使うの？」「すごい物らしいけれど、使い方が分からない」という方が多いです。

―マニーが投資家と接する際に大切にしていることは何ですか。

齊藤　私たちがどのような製品を作って、それがどのように使われているのかを実際に見ていただくことが、「費」と思っています。自分もマニーの製品で治療を受けたかもしれない」と言ってくださり、製品がぐっと身近になるようです。

藤野　若い人たちの間で〝推し〟という言葉がありますね。株式投資こそ〝推し活〟です。企業の価値・商品が好き、というのは実は本来の投資のあり方なんですね。だから推し活的に企業を選ぶのは、本来の投資の姿だと思います。実際に企業側も推し活的な投資を求めています。「この企業が好き、商品が好き」という投資家が増えると、企業と投資家の関係が良くなります。

―「ひふみ」を通じて〝推し活〟をして、企業活動とそこに関わる人々を応援していただくと同時に、経済全体の貢献につながるという投資の意味を伝えたいですね。

新NISA活用を

―投資は利益追求だけでなく応援団的な視点が大切だ、という考えがあるのですね。

齊藤　投資家による企業みつけ方の一つとして、ひふみは金融庁も推奨しているのです。ぜひ多くの方に新NISAを活用して資産形成に取り組んでいただきたいです。

藤野　生成AI（人工知能）の登場は、投資の分野にも影響を与えるでしょう。短期的な投資は、オンラインのデータを全て用いるAIの判断が早いのかもしれません。そうすると、レオスの存在意味や価値がなくなるかもしれません。

私たちの価値は、経営者との対話、フェイスツーフェイスでしか分からない、経営者の夢やビジョン、その会社の社員の頑張りなど、人の目に近づいてきました。そして、しかも、しかしかできなかったことがようやく機械にできるようになりました。製品開発の面でさ置き換えられるようになります。レオスのメンバーや外部の専門家を中心とした学術的な活動を通じて、「ひふみ」の運用に落とし込むことや、より多くの人を巻き込んだコミュニティーや勉強会として機能することを目指します。

こうした活動を通じて、お金に前向きな考え方をする人を増やし投資に向けたいるために、はお金が必要ですが、稼い治療は誰もが嫌ですよね。マニーの機器を使えば治療が簡単で痛みがないという低侵襲治療の世界をつくりたいです。独自の技術で、世界一の品質の製品をどんどん生み出します。

藤野　必要な金融サービスを全ての人が使えるようにする「ファイナンシャル・インクルージョン（金融包摂）」を掲げています。今後、投資する人としない人で格差が起きることが予想されます。投資する人を少しでも増やすために、投資の面白さや素晴らしさを多くの人に伝えたい。

未来の選択肢を提示し創造することを目指して「ひふみ目論見倶楽部（愛称ミーモ）」を設立しました。「ひふみ」が提示する新しいアクティブファンドの在方が性能が良かったのが、画像が4K・8Kになり、人の目に近づいてきました。「ひふみ」の魅力を形づくる中核的な活動です。レオスのメンバーや外部の専門家を中心とした学術的な活動を通じて、「ひふみ」の運用に落とし込むことや、より多くの人を巻き込んだコミュニティーや勉強会として機能することを目指します。

こうした活動を通じて、お金に前向きな考え方をする人を増やし投資に向けたいるために、はお金が必要ですが、稼い治療は誰もが嫌ですよね。マニーの機器を使えば治療が簡単で痛みがないという低侵襲治療の世界をつくりたいです。独自の技術で、世界一の品質の製品をどんどん生み出します。

企業の果たす役割や成長戦略について語り合ったレオス・キャピタルワークス代表取締役会長兼社長（CEO&CIO）藤野氏（右）とマニー取締役兼執行役社長齊藤氏＝宇都宮市内のマニー本社

変化に対応し社会に貢献

―未来を見通すことが難しい時代です。どのような変化を感じますか。

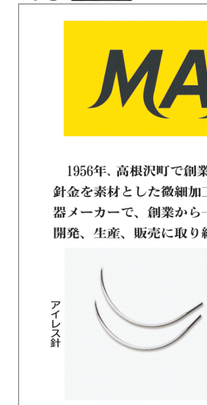
藤野　生成AI（人工知能）の登場は、投資の分野にも影響を与えるでしょう。短期的な投資は、オンラインのデータを全て用いるAIの判断が早いのかもしれません。そうすると、レオスの存在意味や価値がなくなるかもしれません。

私たちの価値は、経営者との対話、フェイスツーフェイスでしか分からない、経営者の夢やビジョン、その会社の社員の頑張りなど、人の目に近づいてきました。そして、しかも、しかしかできなかったことがようやく機械にできるようになりました。製品開発の面でさ置き換えられるようになります。レオスのメンバーや外部の専門家を中心とした学術的な活動を通じて、「ひふみ」の運用に落とし込むことや、より多くの人を巻き込んだコミュニティーや勉強会として機能することを目指します。

司会　工藤敬子氏

眼科用ナイフ

マニー本社＝宇都宮市



アイレス針

MANI

1956年、高根沢町で創業。現在の本社は宇都宮市。針金を素材とした微細加工技術を得意とする医療機器メーカーで、創業から一貫して医療小物消費財の開発、生産、販売に取り組む。基本方針は「世界一の品質を世界のすみずみへ」で、ニッチな製品群に特化したビジネスモデルは注目をされており、世界的に高い市場シェアを獲得している。

主な製品は、外科手術に使用される縫合針や針付縫合糸、歯科根管治療器具、眼科用ナイフなどで、技術力に定評がある。

RHEOS CAPITAL WORKS

ひふみ

日本を根っこから元気にする

ひふみ投信　ひふみプラス　ひふみ年金

設定・運用：レオス・キャピタルワークス株式会社　金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第1151号 一般社団法人投資信託協会会員 一般社団法人日本投資顧問業協会会員

・投資信託のお取引は、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標に係る変動を直接の原因として損失が生じることとなるおそれがあり、基準価額の下落により元本欠損が生じる可能性があります。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は、預金等や保険契約とは異なります。
・投資信託のお申込みにあたっては、事前に販売会社よりお渡しする「投資信託説明書（交付目論見書）」の内容を十分にお読みになり、ご自身でご判断ください。
・当社は、金融商品の説明等をすることや、お客様からのご依頼がある場合に金融商品に関する追加の説明等をすることがあります。しかしながら、売買の推奨等を目的とした投資勧誘は行ないません。また、金融商品の案内、説明等はあくまで各お客様ご自身のご判断に資するための情報提供目的であり、金融商品の購入等を推奨するものでもありません。
・当記事は作成日における信頼できる情報に基づき作成しておりますが、内容の正確性・完全性を保証するものではなく、また記載されている内容は予告なく変更される場合があります。
・当記事に記載されている当社が運用する投資信託の過去の運用結果等は、将来の結果等をお約束するものではありません。また、当該過去の運用結果等は、当該投資信託に投資をされた各投資家の利回りを表すものではありません。運用実績は投資信託の利益にかかる税金等を考慮していません。
・当記事に記載されているコメントは当社の見解を示すものであり、市場動向や個別銘柄の将来の動きや結果を保証するものではありません。ならびに、当社が運用する投資信託への組み入れ等をお約束するものではなく、また、金融商品等の売却・購入等の行為の推奨を目的とするものではありません。
・当記事に記載されているコメントは個別銘柄の売買を推奨するものではありません。

当社が運用する公募投資信託のリスク / 費用

■価格変動リスク：国内外の株式や公社債を実質的な主要投資対象とする場合、一般に株式の価格は個々の企業の活動や業績、市場・経済の状況等を反映して変動し、また、公社債の価格は発行体の信用力の変動、市場金利の変動等を受けて変動するため、その影響を受け損失を被るリスクがあります。
■流動性リスク：有価証券等を売却あるいは取得しようとする際に、市場に十分な需要や供給がない場合や取引規制等により十分な流動性のもとでの取引が行なえない、あるいは不利な条件で取引を強いられたり、または取引が不可能となる場合があります。これにより、当該有価証券等を期待する価格で売却あるいは取得できない可能性があり、この場合、不測の損失を被るリスクがあります。
■信用リスク：有価証券等の発行者や有価証券の貸付け等における取引先等の経営・財務状況が悪化した場合またはそれが予想される場合もしくはこれらに関する外部評価の悪化があった場合等に、当該有価証券等の価格が下落することやその価値がなくなること、または利払いや償還金の支払いが滞る等の債務が不履行となるおそれがあります。投資した企業等にこのような重大な危機が生じた場合には、大きな損失が生じるリスクがあります。また、実質的に投資した債券の発行体にデフォルト（債務不履行）が生じた場合またはそれが予想される場合には、債券価格が下落する可能性があり、損失を被るリスクがあります。
■為替変動リスク：外貨建資産を組み入れた場合、当該通貨と円との為替変動の影響を受け、損失が生じることがあります。また、一部の資産において、為替ヘッジを行なう場合に円の金利が為替ヘッジを行なう通貨の金利より低いとき、この金利差に相当するヘッジコストが発生します。
■カントリーリスク（エマージング市場に関わるリスク）：当該国・地域の政治・経済情勢や株式を発行している企業の業績、市場の需給等、さまざまな要因を反映して、有価証券等の価格が大きく変動するリスクがあります。エマージング市場（新興国市場）への投資においては、政治・経済的不確実性、決済システム等市場インフラの未発達、情報開示制度や監督当局による法制度の未整備、為替レートの大きな変動、外国への送金規制等の状況によって有価証券等の価格変動が大きくなる場合があります。また、新興国の公社債は先進国の公社債と比較して価格変動が大きく、債務不履行が生じるリスクがより高いものになる可能性があります。
したがって、お客様（受益者）の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。
詳しくは、投資信託説明書（交付目論見書）の「投資リスク」をご覧ください。

お客様の負担となる費用について
◆お客様に直接ご負担いただく費用
・購入時手数料：上限 3.30%（税抜 3.00%）
※当社が直接販売している投資信託は購入時手数料はありませんが、「スポット購入」に際しての送金手数料はお客様負担となります。※販売会社を通じて購入できる投資信託につきましては、購入時手数料は各販売会社ごとに定める料率となりますので、各販売会社までお問い合わせください。
・換金（解約）時手数料・信託財産留保額：ありません。
◆お客様に間接的にご負担いただく費用
・信託報酬：信託財産の純資産総額に対して 上限 年率 1.6280%（税抜 1.4800%）
・監査費用：信託財産の純資産総額に対して 年率 0.0055%（税抜 0.005%）以内を乗じて得た額
・その他の費用：組入有価証券の売買の際に発生する売買委託手数料（それにかかる消費税）、先物取引・オプション取引等に要する費用、外貨建資産の保管等に要する費用、租税、信託事務の処理に要する諸費用および受託会社の立替えた立替金の利息など。これらの費用については、運用状況等により変動するものであり事前に料率、上限額等を表示することができません。
◆ご注意
・上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、レオス・キャピタルワークスが運用するすべての公募投資信託のうち、ご負担いただくそれぞれの費用における最高の料率を記載しております。投資信託に係るリスクや費用は、それぞれの投資信託により異なりますので、ご投資をされる際には、事前によく投資信託説明書（交付目論見書）、目論見書補完書面等をご覧ください。

投資信託説明書（交付目論見書）のご請求・お申込みは各販売会社まで。
当社が直接販売する投資信託の詳細情報の照会先：コミュニケーション・センター 03-6266-0123（受付時間 営業日の9時～17時）https://hifumi.rheos.jp/